

科学者委員会 研究計画・研究資金検討分科会
総合工学分野の大型研究計画評価小分科会（第1回）
議事要旨

日時 平成31年4月26日（金）16:00～17:30
会場 日本学術会議 5-B会議室
出席者 大倉委員、小山田委員、西條委員、鈴置委員、筑本委員、吉村委員、
原委員、野口委員、大和委員
事務局 犬塚参事官、高谷審議専門職

配布資料

- 資料1 第1回評価小分科会での確認事項
 - 資料2 マスタープラン2020策定に関わる利益相反排除の方針
 - 資料3 学術大型研究計画策定における審査・評価プロセスについて
 - 資料4 評価小分科会及び委員の役割
 - 資料5 マスタープラン2017において重点大型研究計画に選定された区分Iの研究計画で、継続条件を満たしかつ継続を希望する研究計画の継続審査について
 - 資料6 区分IIの研究計画の適否のチェックについて
 - 資料7 総合工学分野の応募提案一覧【非公開資料】
-
- 参考1 小分科会委員名簿
 - 参考2 第24期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針
 - 参考3 公募要領
 - 参考4 学術研究領域コード表

議 題

- 1) 役員の選任について
互選により、委員長として吉村委員が選任された。続いて吉村委員長より、副委員長として大倉委員が、幹事として野口委員がそれぞれ指名され、出席委員から承認された。
なお、議事要旨については各委員で内容確認後、委員長に一任すること、また、委員間でメールアドレスを共有することが承認された。
- 2) 利益相反についての考え方の確認

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある西條委員より、審査における利益相反についての考え方の説明があった。

3) 評価小分科会における審議事項等

研究計画・研究資金検討分科会委員でもある西條委員より、資料について説明があった。

評価に際しては、総合工学分野の特性を考慮して評価を行うこととした。

4) 取りまとめの審議の方法の決定

本小分科会では、各委員による評価の後に行う、区分Ⅰ（学術研究領域で融合領域（コード32-1）を選択した提案を除く）の順位づけのとりまとめの審議の方法、区分Ⅰ（重点継続希望）のとりまとめ、区分Ⅱのとりまとめを、委員間でメール等による議論を行ったうえで、最終的な判断は委員長に一任とすることとした。

5) 今後のスケジュール

資料に沿って確認が行われた。

各委員からの評価結果の提出の締め切りは、区分Ⅰの融合領域と重点継続希望分野に関しては、5月17日、それ以外の分野は、6月17日とする。

文責 野口